

# 報告



## 第1回レベルアップ講習会（介護）

7月9日（水）13時よりコムズ4階視聴覚室にて、提供会員さん対象の第1回レベルアップ講習会（介護）を行いました。

『合言葉は、「互いに支えあい♥」～在宅介護を経験して～』をテーマに、東雲短期大学講師の川中 康子さんをお招きしました。実体験に基づいたお話をベースに、「認知症高齢者の方への接し方」や「障がいを持った方への支援」など、今後いろいろな形で介護にかかわっていく中で役立ちそうなことを解説していただきました。



東雲短期大学  
講師 川中 康子さん

介護は、誰にでもある日突然やってきます。出産と違い、準備期間がありません。介護中の家族は、孤立しがちです。誰かが自分たちを知っている、認めてくれているという気持ちが心の支えとなります。自分の知った知識を相手に教える、相手をねぎらうことで互いに支えあいましょう。



川中さんの実体験を基にお話が進み、具体的でわかりやすい講習となりました。

## 講習会についての感想

- 介護される方、する方への理解を深めなければならないと思った。
- 具体例を交えながら分かりやすいお話で勉強になった。
- 実の母が認知症で、一緒に寄り添う事が大切だと思いました。

- 自分の体験からも、家族の心の支えが一番必要だと実感できた。
- 認知の場合、人によって症状が違うが、相手の尊厳を守り、思いやりを持って接していきたい。
- 一般にあるもので、介護用品に代用できることがわかった。



- 80代の母がいるのですが、明るい介護が送れそうだ。工夫しながら助けられながら頑張っていこうと思った。
- 身近に介護中の親や障がい者がいるので、いろいろな立場で考える良い機会になった。
- 在宅介護の事、認知症の事、障がい者支援の事、事例だからよく理解できた。学ぶことが多かった。
- 認知症の親との関わりをもう一度考える機会になった。
- 援助活動以外に実家の母の看護に関わっているので勉強になった。実際に介護中の方との勉強会があればいいなと思った。
- 久しぶりに介護の講習を受け、興味のあることをたくさん教えてもらった。家族としてできなかったことが残念だ。周りの人に話してあげたい。